

彼方「かなた」

校長通信
H24.9.3
Vol.19

【始業式の話】

みなさんは四十四日間の夏休み、どう過ごしましたか？誰でも、よかったことや楽しかったこと、新しい発見が必ずあるはずです。教室でそういうことを話題にして、みんなでお互いの楽しさを共有してみてください。

「俺は、どこにも行けなかったし、毎日同じだったな。楽しいこともそんなになかったし、宿題も全然終わらないし…」なんてネガティブな思いに浸ってしまったわないで、何も変化がなく当たり前の毎日を重ねることができる幸せっていうのを感じられる大人になって欲しいですね。

改めて今日から二学期のスタートです。残念ながら全員が揃ってのスタートとはなりませんでしたが、引越しのために転校してしまった友達もいます。具合が悪くて参加できない人もいます。羽場先生のように出張で始業式に参加できない先生もいらっしゃいます。

逆に今日から新たに皆さんの学校生活をサポートしてくださる方々もいらっしゃいます。理科支援をしてくださる大橋先生です。同じように毎週水曜日に理科や数学の授業のお手伝いをしてくださる佐藤先生です。今日はお越しいただけませんでしたが、図書ボランティアの皆さんもこの夏休み中に組織されました。いつでも図書室が活用できるようにお手

伝いさせていただきます。後日皆さんにも紹介したいと思っています。いずれの方々も自らすすんで学校ボランティアに参加してくださる皆さんです。本当に感謝したいと思います。本校の教育目標「自主貢献」を体現している皆さんです。私たちも自分から誰かのためになるように一生懸命勉強し、社会貢献できるようにになりたいものです！

さて、二学期のスタートに当たっての私の願いを皆さんにお話しします。

今月のキーワードは、「笑顔創造」です。自分の行為の判断基準を、自分自身や周囲の「笑顔」に置くことを学んで欲しいと思います。そして、次の三つに全校で取り組んでいきたいと思えます！

一つ目は、学年代表の皆さんの話にも出てきましたが、体育祭を成功させることです。そのためには、何のための体育祭かを意識してください。皆さんの活動をお家の方や地域の方々に見て頂くというのは、意味があります。それは、皆さんの一所懸命な姿を見ていただくことで、来てくださった方々を「笑顔」にし、元気にすることが体育祭の定義だからです。

中学生として地域に貢献できるひとつが、皆さんの体育祭での一所懸命な姿です。競技も応援も係の活動も準備段階から精一杯取り組んでください。心ひとつにしてみんなで一生懸命取り組んでいる姿をつくり上げていきましょう！

二つ目は、一学期、いい加減になったり、こじれてしまったルールや人間関係をもう一度見直すことです。その時大切なのが「笑顔」です。みんなで守るべきマナーやルールを見直すのは、そこで生活す

る人たちが「笑顔」になることです。そうするとよりよい人間関係がさらにつくられていくのです。学級と一緒に勉強できない人やいじめられて嫌な思いをしている人にどうしたら「笑顔」を届けられるかを考えて欲しいのです。自分自身が困ったときは「困った！」と他の人に声をかける勇気を持つて欲しいのです。

最後に自分たちの課題にしっかりと向き合い解決してください。問題から目をそらさずに解決する方法をみんなで考え、実行してください。今月はそのスタートにしてほしいと思います。ダメな状態や嫌な状況をそのままにせず、きちんと課題に向き合って、解決してください。そして解決策を考えたときの判断基準が「笑顔」なのです。課題をみんなでクリアした時の気持ちをリアルに想像してみてください。途中苦しくても必ずウキウキするはずですよ。

今日は、「笑顔」を創造するということをテーマに話をしました。毎日の生活の中で眉間にしわのよるような話やニュースが飛び交っています。学校関係だけでも大津市のいじめの問題を発端に沢山の訴訟問題が出てきたり、市内の小中学校で先生方のセクハラ問題があったりと、本当に腹立たしい限りです。そんな中で、全校で「笑顔」をつくる取り組みができたら幸せだなーと感じています。口角を上げて笑顔で挨拶したり、ごみを拾ったり、隣の人に声をかけたり、どんな小さなことでも自分でできる「笑顔創造」に取り組んでみてください。そうすれば「湖北中学校で生活できてよかった！うちの学級でよかった！」と思えるようになります。頑張ろう！